

# IDL 8.8 SP1

## リリースノート

### Note

---

最新の情報に関しては、下記のリンクを参照してください。

<http://www.harrisgeospatial.com/SoftwareTechnology/IDL.aspx>

---

このリリースノートは次の項目に分かれています。

### 内容

IDL8.8 SP1 のサポートプラットフォーム .....	2
IDL8.8 SP1 の新機能 .....	4
IDL8.8 SP1 のライブラリアップデート .....	5
IDL8.8 SP1 の下位互換性の問題 .....	5
IDL8.8 SP1 の既知の不具合 .....	6
IDL8.8 SP1 で修正された問題 .....	7

## IDL8.8 SP1 のサポートプラットフォーム

IDL8.8 SP1 のサポートプラットフォームを以下の表に示します。サポートバージョンに変更があるため、ソフトウェアをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、ライセンス認証にはネットワークカード（NIC もしくは Ethernet）を介した、インターネット接続が必要となります。

プラットフォーム	ハードウェア	オペレーティングシステム	サポートバージョン <b>b</b>
Windows	Intel / AMD 64-bit <b>a</b>	Windows	10
Macintosh	Intel 64-bit	macOS	10.14, 10.15, 11 <b>c</b>
	M1		11 <b>d</b>
UNIX	Intel / AMD 64-bit	Linux	Kernel 3.10.0 glibc 2.17

**a:** IDL8.5 より Windows は 64-bit OS のみのサポートとなります。32bit モードの IDL を起動する場合は、「ENVI5.6/IDL8.8 インストールガイド」の「Windows 版 ENVI / IDL の起動方法」をご確認ください。

**b:** サポートバージョン中の記載は、IDL の構築・テスト環境を示しています。弊社による公式のサポートは、表に記載されたインストール環境に対して適用されます。

**c:** Macintosh 版のインストールには、Apple X11 X-window マネージャが必要となります。X11 がインストールされていない場合は、XQuartz よりインストールを行ってください。XQuartz2.8.1 にて動作確認されています。

**d:** M1 チップマシンには、Rosetta2 エミュレータが必要です。

### 推奨環境：

本製品を快適に利用するために 1GB 以上のメモリを持つグラフィックボードの搭載と、バージョン 2.0 以降の OpenGL のマシン環境を推奨します。また、搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。ヘルプシステムは HTML5 対応ブラウザを必要とします。

また、現行の動作に要求される最小のマシンスペックを以下の表に示します。インストールを行うマシンが以下の性能を満たしているか、必ずご確認ください。

ハードウェア	最小スペック
ハードディスク容量	4GB
メモリ	8GB
CPU	最小 2Core 推奨 4Core 以上

### ライセンスサーバーのサポートプラットフォーム

本製品をフローティングのライセンスのサーバー機として使用する場合には、ライセンスサーバー（Flexnet License Server）を使用します。そのライセンスサーバーのサポートプラットフォームを以下の表に示します。なお、MacOS はフローティングサーバーとしては動作いたしません。

ライセンスサーバーをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、フローティングライセンスに関しても、ライセンス認証にはネットワークカード（NIC もしくは Ethernet）を介した、インターネット接続が必要となります。

プラットフォーム	CPU アーキテクチャ	サポートバージョン
Windows 64bit	x86-64	Windows Server 2008, 2012 Windows 8, 10
Linux	x86-64	Cent OS 6.x Cent OS 7.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.x Ubuntu 16

また、現行の Flexnet License Server 2017.08 の動作に要求される最小のマシンスペックを以下の表に示します。インストールを行うマシンが以下の性能を満たしているか、必ずご確認ください。

ハードウェア	最小スペック
ハードディスク容量	500MB
メモリ	4 GB
CPU	2GHz – 2 Cores

**その他：**

搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。各製品の Help は HTML5 対応ブラウザを必要とします。

## **IDL8.8 SP1 の新機能**

詳細は以下のページをご参照ください。

<http://www.harrisgeospatial.com/docs/WhatsNew.html>

## IDL8.8 SP1 のライブラリアップデート

・以下のサードパーティライブラリが新バージョンに更新されました。

- AdoptOpenJDK JDK and JRE, 11.0.11
- Chromium Embedded Framework, 91.1.22
- cURL, 7.77.0
- Eclipse CVS Client, 1.4.1700.v20210303-1800
- Eclipse Git, 5.12.0.202106070339-r
- Eclipse Platform, 4.20.0.v20210612-2011
- FreeType, 2.10.4
- GDAL, 3.2.2
- GEOS, 3.8.1
- JasPer, 2.0.32
- libHaru, 2.3.0
- libjpeg-turbo, 2.1.0
- libpng, 1.6.37
- libxml2, 2.9.11
- OpenSSL, 1.1.1k
- python, 3.7.10, 3.8.10, 3.9.5
- Spatialite, 5.0.0

・以下のサードパーティライブラリが今回のリリースから追加されました。

- POCO, 1.10.1

## IDL8.8 SP1 の下位互換性の問題

IDL8.8 では Java11 を使用します。以前のバージョンの IDL プログラムに Java8 のコードがあった場合、Java11 を使用して再コンパイルが必要になる可能性があります。

## IDL8.8 SP1 の既知の不具合

### MacOS における HELP 表示の問題

IDL ヘルプ機能を macOS 標準ブラウザである Safari で表示すると、「The operation couldn't be completed」と表示される、あるいは、空白のページが表示されるエラーが発生します。一般に、Safari はローカルファイルの操作に対して制限がかけられています。このエラーは、ヘルプシステムによって自動作成された一時的な HTML ファイルが特定の IDL ヘルプコンテンツへのリダイレクトを実行しようとしたときに発生します。

ヘルプを表示するための 2 つの回避策があります。

1. Safari で、[ローカルファイルの制限を無効にする]設定を有効にする
2. Safari でローカルファイルの制限を無効にしない場合は、ブラウザとして Chrome または Firefox を使用して IDL ヘルプコンテンツを開く

### M1 チップ搭載の macOS 端末で Rosetta を介して IDL ワークベンチを使用する際の Java に起因した不具合

M1 チップ搭載の macOS 端末で Rosetta を介してワークベンチを使用する場合、Java Adopt OpenJDK に起因した動作不良が発生します。この問題を回避するには、INSTALL\_DIR/bin/bin.darwin.x86\_64/jre ディレクトリの Java を、次の場所で入手できる「Azul Zulu OpenJDK JRE 11.0.12 + 7 (Zulu : 11.50.19 バージョン)」に置き換える必要があります。

[https://cdn.azul.com/zulu/bin/zulu11.50.19-ca-jdk11.0.12-macosx\\_x64.dmg](https://cdn.azul.com/zulu/bin/zulu11.50.19-ca-jdk11.0.12-macosx_x64.dmg)

### 気象庁の grib2 形式のファイルを IDL の grib\_list プロシージャで正しく読み取れない

国際気象通報式 FM92GRIB 二進形式格子点資料気象通報式 (第 2 版) (GRIB2) に則り提供されている気象庁のデータファイルを、IDL の GRIB\_LIST プロシージャで正しく読み込むことができない問題が確認されております。このプロシージャで取得できる要素は、ファイルに登録された複数ある変数のうち一つのみであり、全ての要素を正常に取得することができません。

## IDL8.8 SP1 で修正された問題

ID	解 説
IDL-60734 IDL-69969	H5D_READ プロシージャの動作が遅い
IDL-69094	プロシージャを使用することでユーザがカスタムヘッダ情報を取得することを許可した
IDL-69757	H5_PARSE プロシージャが UTF8 でエンコードされた文字列を読み取ることができない
IDL-69901	DIALOG_PICKFILE 関数で表示される Windows 環境のファイル選択ダイアログを更新した
IDL-70726	IDL_IDLbridge を使用した IDL VM の制限についての記載が HELP ドキュメントから消えていた
IDL-70727	IDL8.8 に切り替えた場合の IDL ワークベンチではシンタックスカラーが完全に動作しない
IDL-70753	Eclipse で Customize が選択された場合に IDL8.8 ワークベンチがクラッシュする
IDL-70764	MacOS 11 (Big Sur)で IDL ワークベンチを使用すると、テキスト編集の機能に遅延が発生する
IDL-70777	macOS の IDL ワークベンチのエディタでは、テキストレンダリングに問題が発生する